

2001年8月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

北半球500 hPa 高度では、ヨーロッパの西海上からシベリアにかけては、明瞭なトラフとリッジが交互に分布し、ヨーロッパの西海上と西・東シベリアでは負偏差、ヨーロッパからロシア西部と中央シベリアでは正偏差が分布した。太平洋では、日本の南東で弱い負偏差、アラスカの南で深い谷場となり、強い負偏差が分布し、中部と東部の30°N 帯では正偏差に覆われた。北アメリカでは正偏差、大西洋では北部で負偏差となった他は広く正偏差が分布した。

対流活動はインドからベンガル湾、スマトラ島、インドシナ半島、南シナ海からフィリピンで平年より活発であった。インド洋赤道付近の対流活動は平年並で、フィリピンの東海上から西・中部太平洋赤道域では平年よりも活発、かつ北寄りとなった。メキシコからパナマ付近では平年より活発で、カリブ海では不活発、大西洋からアフリカにかけては平年に比べて活発で北寄りだった。

200 hPa 速度ポテンシャルの分布図を見ると、フィリピンの東海上に見られる大規模発達域の中心は平年

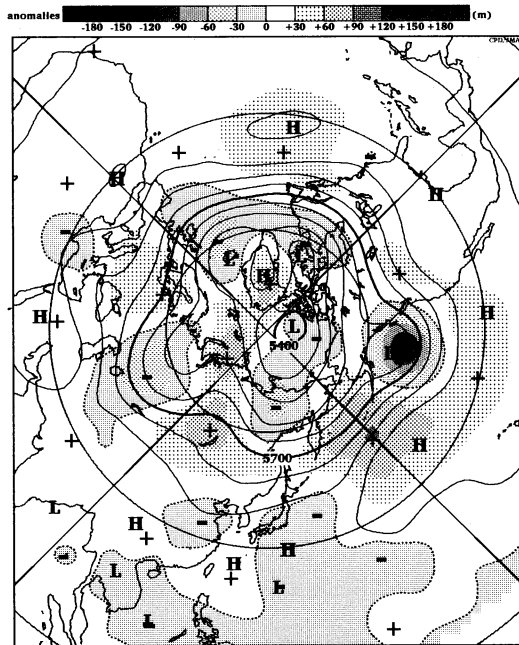
より約10度東に位置した。

SOI (南方振動指数) は-0.6 (暫定値) であった。

世界の天候

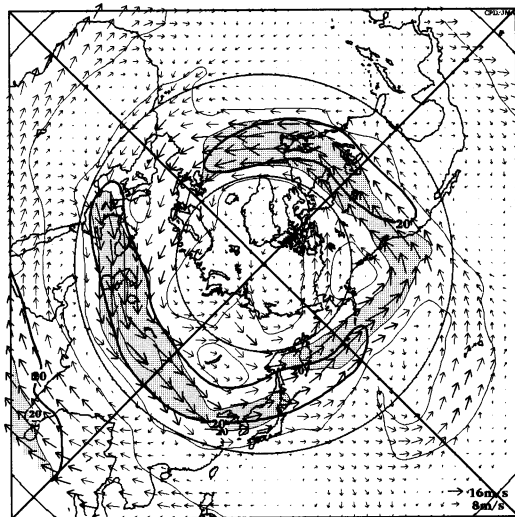
- ① 朝鮮半島から九州の少雨
- ② 西シベリアからモンゴルの高温
- ③ 華南からインドシナ半島の多雨
- タイでは台風やモンスーンによる大雨で170人以上の死者が報じられた。
- ④ 東南アジアの高温
- ⑤ インド北西部の少雨
- ⑥ ヨーロッパ東部から中東の高温
- ⑦ 北米東部の高温
- 米国では上旬を中心に各地で熱波の被害が報じられ、モンタナ州などで森林火災の被害が伝えられた。
- ⑧ 米国南部から中部の多雨
- ⑨ メキシコからベネズエラの高温
- ベネズエラではここ20年間で最悪の干ばつに見舞われていると報じられた。
- ⑩ ブラジル北部の少雨
- ⑪ アルゼンチン東部の高温

(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 上沢大作)



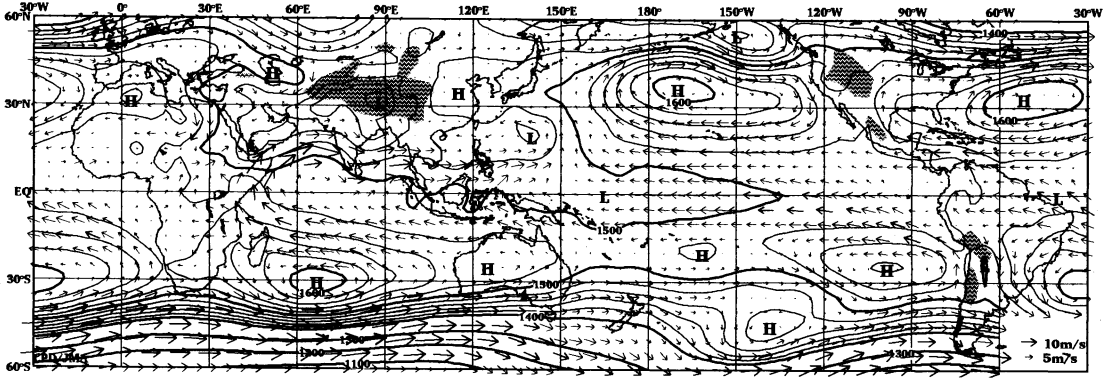
2001年8月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差

等値線間隔は60 m, 偏差パターン間隔は30 m. 平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。

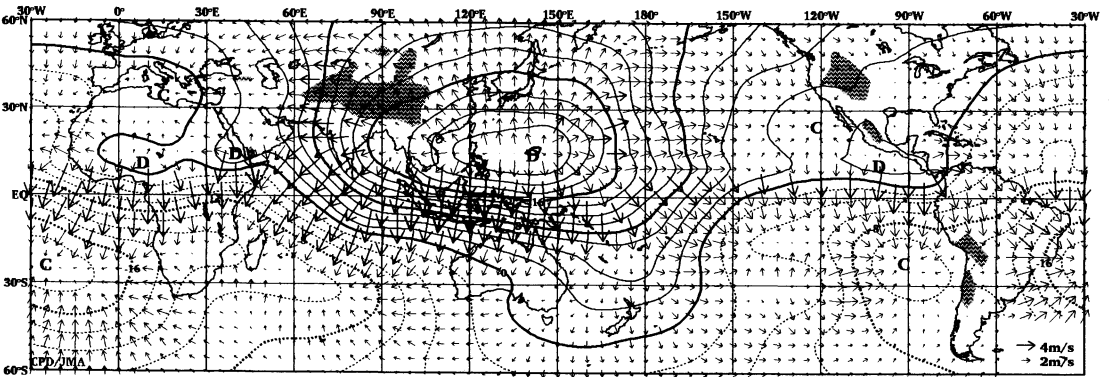


2001年8月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル

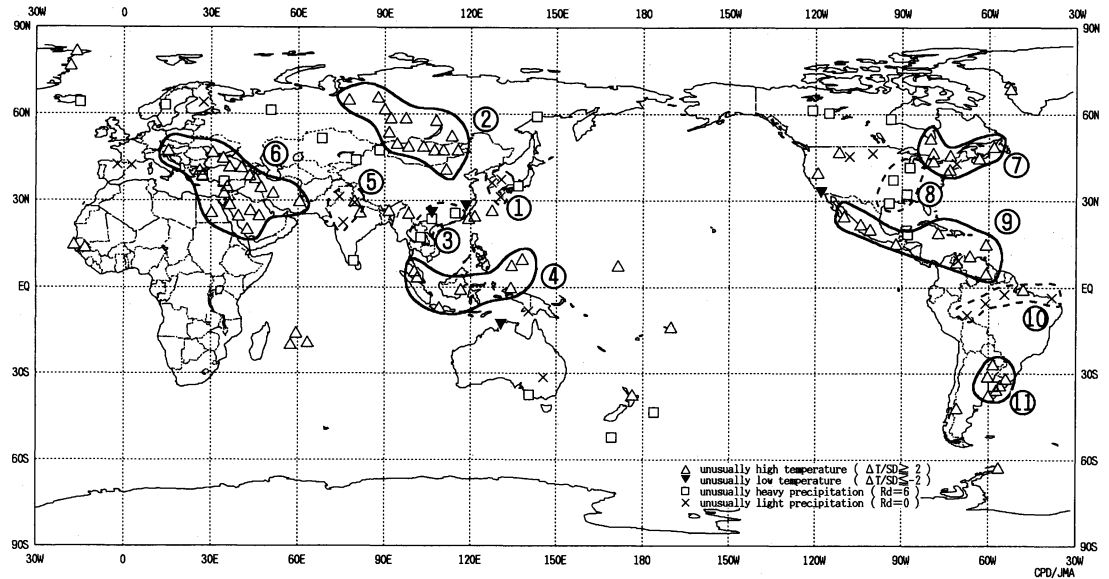
等値線間隔は10 m/s. 陰影部は20 m/s以上. 太実線で囲まれた領域は平年の20 m/s以上の領域を示す. 平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。



2001年8月の月平均850 hPa高度および風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 mまでは100 m)



2001年8月の月平均200 hPa速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



2001年8月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
 異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.